

青木村郷土美術館 開館 30 周年記念

～旅のゆくえⅡ～ 生島 潔 日本画展

青木村郷土美術館は皆様のご支援のもと、おかげ様で昨年、開館 30 周年を迎えることができました。

今後共、地域に寄り添う美術館でありたいと願っています。

この 30 周年を記念して郷土美術館では「生島 潔日本画展」を開催いたします。日展出品作品、故郷に戻ってりんご農家として歩みながらの作品の数々。一人の作家が歩んで来た軌跡を展覧いたします。



踊る (西馬音内盆踊り) 2015年 132 cm×280 cm 部分

日時：2022年9月22日(木)～10月10日(月) 開館9時～16時30分 最終日15時終了

(休館日：9月26日、27日 10月3日)

入館料：一般 200 円／学生 150 円 (高校生以上)／児童・生徒 100 円

会場：青木村郷土美術館 (企画展示室、ロビー)

ギャラリートーク

講師：米津福祐先生 (信州美術会会長、二紀会参与)

日時：10月1日(土) 午後2時より (企画展示室)

※ 尚、コロナ感染拡大等のやむを得ない状況によって、予定を変更させていただく場合がございます。



2014 「It goes on」～時間は続いてゆく



2022 冬山路・俄 190cm×355cm

冬山路・俄（ふゆやまじにわか）

「お世話になっている静岡の方に富士山の絵を贈りたいのだけれど・・・」友人より依頼があったのは去年7月でした。これまで富士山を描こうなどと考えもしなかったのですが『縁に導かれるのもまた縁』と心に定めて12月末一週間の取材に出かけました。天に突き出る圧倒的な姿、俄かに湧き立つ雲井に映る頂の影。拙い技量では太刀打ちできない存在感で迫ってくる富士山でした。

日本画と出会い、日展に発表の場を求めて30年が経ちましたけれど、その都度手探りと恥ずかしさの繰り返しで過ぎた時間でもありました。此度の青木村郷土美術館様よりいただきました企画展のお話は、

未熟ながらの歩みを振り返る機会ともなります。心より感謝申し上げます。

コロナ禍の一刻も早く過ぎ去ることを願いつつ、ご高覧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和4年9月 生島 潔

※ 会期中、土日祝日は1日、平日は午後より会場にいます。

（生島）

生島 潔（おじまきよし）

1958年 長野県上田市浦野に生まれる

1991年 日展初入選、以後出品

日展日本画部春季展初入選、以後出品

1996年 帰郷 父の遺したりんご園を営みつつ以後制作活動

2002年 唐招提寺・室生寺など奈良の取材を開始

2007年 秋田西馬音内盆踊りと出会い以後毎年通う

2012年 室生寺に「時の扉・十二神将」奉納

2014年 改組新第1回日展「It goes on」特選

2015年 秋田西馬音内盆踊りの会場にて個展

2019年 心の花美術館にて個展

現在 日展会友 青木村郷土美術館絵画教室講師



お問合せ

長野県小県郡青木村当郷2051-1

青木村郷土美術館

TEL 0268-49-3838